

皆野教育シンポジウム

皆野中学校3年生が、「住み続けられる町づくり」をテーマに地域・地元企業・大学生の方々と熱心に対話。集大成として「まちづくり政策提言」を黒澤町長にプレゼンしました。

これまでの取組



郷土芸能体験

皆野小学校5年生が秩父音頭の学習を実施。皆野民俗芸能奏楽研修会のご指導のもと、大太鼓、小太鼓、笛、鐘、それぞれの楽器について学び、まとめとして「秩父音頭発表会」を行いました。



ABCプロジェクト

三沢小学校全校児童がカブトムシの飼育をとおして幼稚園や保育園と交流。学校運営協議会の協力のもと、カブトムシを幼虫から育て、多くの園児を笑顔にしました。



泥リンピック

国神小学校3～5年生が水田の代掻きとして実施。全力で水田の中を駆け回りました。この水田で、田植え・案山子づくり・収穫などの様々な農業体験を行いました。



自然体験～川遊び～

皆野幼稚園年長園児が、夏季保育で川遊びを体験。職員やボランティアの皆野中学校生徒に見守られながら、夢中で魚やカニを探し、その後はスイカ割りをしました。

「皆野町を愛し大切にすることを養いたい。」皆野町の教育をみんなが支えたい。こう思った思いから町教育委員会では、ふるさと教育「みんなの学」を掲げています。町全体をキャンパスにした豊かな教育を創造するため、さまざまなつながりを作っています。

「みんなの学」とは

皆野教育NOW

人と地域と未来をつなぐ「みんなの学」の推進

取組の成果

地域のかたをはじめ企業・大学など多くのかたにキャリア教育やSDGS教育などの学校の教育活動を支援いただいています。各種調査の回答からも成果が見て取れます。

県学力・学習状況調査（小学校4年、中学校3年対象）の結果から、「地域の歴史や自然への関心を持っている児童生徒」や「将来の夢や目標を持っている児童生徒」の割合が県平均を大きく上回っています。

全国学力・学習状況調査（小学校6年生・中学校3年生対象）の結果から、「友達や周りの人の考えを大切にしながら、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる児童生徒」が9割以上です。

今後の展望

更なる「みんなの学」の発展のために、次の2点に取り組みたいと考えています。「みんなが皆野」の想いで歩みを進めてまいります。

- ①小中学校9年間の学びが系統的につながるような仕組みを整える。
- ②中学校卒業後の若者や大人も「みんなの学」に関わる機会を作る。

力を入れている取組

- 新学校給食センター建設
- 小学校統合
- 学校におけるICT環境の整備
- 文化財の保存・活用

問合せ 教育委員会事務局 ☎62-4563